

国 語

国 語（高等学校）

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

○ 社会人として必要な基礎的、基本的な国語力の育成を図る。

- (1) 「A話すこと・聞くこと」の指導に当たっては、自分の考えについて根拠を明確にして述べたり、目的や場に応じて表現の仕方を工夫したりするとともに、互いに批評し合うなどして、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることを重視する。
- (2) 「B書くこと」の指導に当たっては、目的に応じて題材を選び、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめるとともに、優れた表現に接したり、自己評価や相互評価を行ったりすることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることを重視する。
- (3) 「C読むこと」の指導に当たっては、文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わったりすることを通して、書き手の意図に触れるとともに、幅広く本や文章を読むことにより、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることを重視する。
- (4) 計画的に学校図書館を利用させ、読書活動を積極的に推進し、幅広い読書を日常生活に根付かせる。

国 語（中学校）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

○ 生徒一人一人が社会生活に必要な国語の能力の基礎を確実に身に付けることができるよう指導方法を工夫する。

- (1) 「A話すこと・聞くこと」の指導に当たっては、社会生活と関連付けた話題や題材を取り上げるとともに、学習したことが社会生活で生きて働くように配慮して、指導の効果を高める。
- (2) 「B書くこと」の指導に当たっては、文章の表現過程に応じた学習を展開するとともに、実際に文章を書く活動を多く設定する。
- (3) 「C読むこと」の指導に当たっては、生徒が自ら学び、課題を解決していくための学習過程を明確化するとともに、主体的に読書をしようとする態度を育成する指導を充実する。
- (4) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の(1)「ア 伝統的な言語文化に関する事項」については、小学校から系統的に学んできている実態を踏まえ、一層古典に親しむ態度を育成することを重視する。(2)の内容については、適切な時数を確保し社会生活に役立つ書写の能力を身に付けることができるよう指導する。

国 語（小学校）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

○ 児童一人一人が日常生活に必要な国語の能力の基礎を確実に身に付けることができるよう指導方法を工夫する。

- (1) 「A話すこと・聞くこと」の指導に当たっては、日常生活と関連付けた話題や題材を取り上げるとともに、学習したことが日常生活で生きて働くように配慮して、指導の効果を高める。
- (2) 「B書くこと」の指導に当たっては、文章の表現過程に応じた学習を展開するとともに、実際に文章を書く活動を多く設定する。
- (3) 「C読むこと」の指導に当たっては、児童が自ら学び、課題を解決していくための学習過程を明確化するとともに、児童の読書意欲を高め、読書活動が一層活発に行われるようにする。
- (4) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の(1)の内容については、重点的に取り扱ったり、学年を渡って弾力的に取り扱ったりして指導する。(2)の内容については、硬毛の関連を図り日常生活における硬筆による書写の能力を高めることができるよう指導する。

## 社会、地理歴史、公民

### 地理歴史（高等学校）

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

#### ○ 学習指導法の研究と授業の充実を図る。

- (1) 生徒の能力、適性、進路等が多様化していることを踏まえ、指導の個別化、学習の個性化の観点から、生徒自ら学ぶ意欲を高める指導法を工夫し、その実践に努める。
- (2) 各科目における課題を探究する学習を充実させることにより、生徒の理解や思考が一層深まり、主体的に学習に参加するように努める。
- (3) 写真、図版、統計等の資料を活用し、生徒の思考力を高める指導法を工夫するとともに、生徒自らが的確に表現する力を育成するため、論述、討論等の言語活動の充実を図る。

### 公民（高等学校）

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

#### ○ 学習指導法の研究と授業の充実を図る。

- (1) 生徒の能力、適性、進路等が多様化していることを踏まえ、指導の個別化、学習の個性化の観点から、生徒が自ら学ぶ意欲を高める指導法を工夫し、その実践に努める。
- (2) 各科目における課題を探究する学習を充実させることにより、生徒の理解や思考が一層深まり、主体的に学習に参加するように努める。
- (3) 写真、図版、統計等の資料を活用し、生徒の思考力を高める指導法を工夫するとともに、生徒自らが的確に表現する力を育成するため、論述、討論等の言語活動の充実を図る。

### 社会（中学校）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

#### ○ 学び方や調べ方の学習、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習などを工夫し、生徒の主体的な学習を一層推進する。

- (1) 資料提示や発問構成の工夫、ICTの活用、作業的、体験的な活動の工夫などにより課題意識や追究意欲を醸成する。
- (2) 課題を追究、考察する学習などを通して、学び方や調べ方、資料活用能力、社会的事象についての見方や考え方を身に付けさせる。
- (3) 作業的、体験的な学習、問題解決的な学習を重視し、生徒が見通しをもった主体的な学習を通して、社会的事象を諸資料に基づいて多面的・多角的に考察したり、公正に判断し表現したりできるようにする。
- (4) 社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの場を意図的に設定し、言語活動の充実を図る。

### 社会（小学校）

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

#### ○ 学び方や調べ方の指導を重視して、児童自ら目的意識をもって問題解決に取り組む授業を展開する。

- (1) 資料提示や発問構成の工夫、ICTの活用、作業的、体験的な活動の工夫などにより問題意識や追究意欲を醸成する。
- (2) 学び方や調べ方を身に付ける学習や資料活用能力を育成する活動、作業的、体験的な学習を意図的、計画的に位置付けた授業を展開する。
- (3) 児童一人一人が明確な問題意識、解決の見通しをもち、解決していく問題解決的な学習の一層の充実を展開する。
- (4) 観察・調査、体験などの具体的な活動を通して調べたことや、自分の考えなどをまとめたり表現したりする場、社会的事象の意味や働きなどをみんなで考える場を適切に位置付け、言語活動の充実を図る。

## 算数、数学

### 数 学 (高等学校)

数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

#### ○ 生徒の学びを深める指導方法の工夫と改善に努める。

- (1) 授業の目標を明確にする。
- (2) 数学的活動を充実させる。
  - ① 具体例を工夫したり結果を予想させたりするなど、課題や問題を自分事にさせる工夫をする。
  - ② 生徒の誤りや疑問を積極的に取り上げ、生徒が互いに学び合う場面を効果的に取り入れる。
  - ③ 学習した内容を生活と関連づけ、具体的な事象の考察に活用したり、数学的に発展させたりする。
  - ④ 日々の授業において、生徒自身が授業を振り返り、自分の理解を確認する機会を設ける。
- (3) 学習活動にコンピュータや教育機器などを活用することにより、学習の効果を高める。
- (4) 教科会を充実させるとともに、教科内の連携を図り、指導方法の工夫と改善に努める。

### 数 学 (中学校)

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基本的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

#### ○ 主体的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、数学的な見方や考え方の育成を図るために、指導の工夫改善に努める。

- (1) 数や図形の性質などを見いだす活動、数学を利用する活動、数学的に説明し伝え合う活動などの**数学的活動の充実**を図る。
- (2) 数学的な思考力、判断力、表現力等を育成するため、**言葉や数、式、図、表、グラフ**を用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの**言語活動**を計画的に位置付ける。
- (3) 生徒の興味・関心や理解の状況に応じた**補充的な学習**や**発展的な学習**を展開するとともに、習熟度別指導を取り入れた**少人数指導**や**個別指導**、**グループ別指導**などの**個に応じた指導**の充実を図る。
- (4) 学習の効果を高めることができるよう、**ICT等の活用**を図る。特に、「資料の活用」領域において、積極的に活用する。

### 算 数 (小学校)

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

#### ○ 算数的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、数学的な考え方の育成を図るために、児童の思考過程を大切に、授業展開に努める。

- (1) **数学的な思考力、判断力、表現力**等を育成するため、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの**言語活動を充実させる**。
- (2) **数学的な考え方を育成**するため、自力解決の時間や互いの思考を共有したり高め合ったりする**時間**、学んだことを確かにする振り返りやまとめ、**適用問題を解く時間**を充実させる。
- (3) 児童の興味・関心や理解の状況に応じた**補充的な学習**や**発展的な学習**を展開するとともに、**個別指導**や**グループ別指導**、**少人数指導**など、**個に応じた指導**の充実を図る。
- (4) 学習の効果を高めることができるよう、**教具としてのICT等**を積極的に活用する。

## 理 科

### 理 科（高等学校）

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

#### ○ 指導方法及び評価の工夫と改善に努め、指導と評価の一体化を図る。

- (1) 学習評価の在り方を見直すとともに、個に応じた指導の充実を図る。
- (2) 観察・実験などの結果を分析し、解釈して自らの考えを導き出し、それらを表現するため、言語活動の充実を図る。
- (3) 学習指導要領を踏まえ「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「観察・実験の技能」「知識・理解」に基づく適切な観点を設定し、目標に準拠した評価による観点別学習状況の評価や評定を着実に実施し、生徒一人一人の学習の定着を図る。

### 理 科（中学校）

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

#### ○ 科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を育成する指導法の改善に努める。

- (1) 生徒一人一人が問題を見だし、主体的に課題を追及できるように、仮説の設定や結果の予想などを行う学習活動において目的意識をもたせる工夫をする。
- (2) 分析して解釈する能力の育成を図るために、生徒の主体性を生かした個別実験や集団の機能を生かしたグループ実験の工夫、原理や法則の理解を深めるためのものづくり、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、各内容の特質に応じた観察、実験の工夫をする。
- (3) 科学的な見方や考え方を育成するために、結果を表やグラフに整理したり、科学的な概念を用いて表現したりする活動の充実を図る。
- (4) 指導の効果を高めるため、ティーム・ティーチングによる指導や地域の施設、ICTなどの活用を積極的に行う。

### 理 科（小学校）

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

#### ○ 問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方を養うための指導法の工夫に努める。

- (1) 自然への興味・関心や知的好奇心を高め、主体的に問題を見いだすことができるような活動を工夫する。
- (2) 児童が見通しをもって観察、実験などを行い、自然の事物・現象と科学的に関わる活動の工夫をする。
- (3) 児童が観察、実験などの結果を整理して、考察し、結論をまとめたり、学んだことを日常生活との関わりの中で見直したりする活動を重視する。
- (4) 指導の効果を高めるため、ティーム・ティーチングによる指導や、地域の自然環境、施設、ICTなどの活用を積極的に行う。

## 音楽

### 音楽（中学校）

※ 高等学校「芸術」（音楽）へ発展

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

- 生徒が音楽活動の喜びを味わい、主体的・創造的に学習に取り組むような指導方法を工夫する。
- (1) 題材の目標に照らし、学習内容を厳選するとともに、魅力ある適切な教材を精選して、指導の充実を図る。
  - (2) 生徒が音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができるよう、幅広い学習活動（歌う・奏でる・創る・聴く）を組織する。
  - (3) 生徒の実態とねらいに応じて、多様な学習形態を取り入れ、生徒の協働的な学習を促し、**音と言葉によるコミュニケーションを図る指導を充実させる。**
  - (4) 生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、**音楽の多様性を理解**することができるような指導を工夫する。
  - (5) **創作指導**について、他の領域・分野との関連を図り、音楽をつくる楽しさを味わわせることができるように工夫する。

### 音楽（小学校）

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

- 児童が音楽活動を楽しみ、自ら進んで学習に取り組むような指導法を工夫する。
- (1) 題材の目標に照らし、学習内容を厳選するとともに、魅力ある適切な教材を精選して、指導の充実を図る。
  - (2) 児童が**音楽を形づくっている要素を聴き取り、音楽のよさや美しさと結び付けて感じ取る**ことができるような授業の展開を構想する。
  - (3) 児童の実態とねらいに応じて、多様な学習形態を取り入れ、児童の協働的な学習を促し、**音と言葉によるコミュニケーションを図る指導を充実させる。**
  - (4) 我が国や郷土の音楽に対して、児童の興味・関心を高めるために、**和楽器に親しむなどの体験を含めた学習活動を充実させる。**
  - (5) 音楽づくりの過程を楽しみながら実際にいろいろな音楽表現を試し、互いの表現のよさを交流するなどして、**音楽をつくる喜びを味わわせる。**
  - (6) 鑑賞は、**楽曲全体を味わって聴く**ことができるように工夫する。

## 図画工作、美術

### 美術（中学校）

※ 高等学校「芸術」（美術・工芸）へ発展

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

- 生徒が感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることができる授業展開を工夫する。
- (1) **育成したい資質や能力を明確にし、生徒自ら「やるべきこと」、「やりたいこと」、「やれること」ができる場や機会**を適切に設定した題材を計画する。
  - (2) 表現と鑑賞の相互の関連を図った指導を工夫するとともに、**〔共通事項〕を視点とした言語活動の充実**を図り、造形的な視点で対象をとらえることができるようにする。
  - (3) 生徒が、自己の感性をもとに自信をもって表現や鑑賞の活動に取り組み、**互いの表現のよさや個性などを認め合いながら活動できる場や機会**の設定を工夫する。
  - (4) 伝統的な側面と創造的な側面から、**生活の中の美術の働きや美術文化について理解を深められる**ようにする。

### 図画工作（小学校）

※ 一部は、技術・家庭科（技術分野）へ発展

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

- 児童が感性を働かせながら、造形的な創造活動の基礎的な能力を培うことができる授業展開を工夫する。
- (1) **育成したい資質や能力を明確にし、個々の児童の思いや願いの具現に向け、自らテーマや材料、方法、手順等を選択、決定**できる場や機会を適切に位置付けた題材を計画する。
  - (2) 表現と鑑賞の活動の関連を図るとともに、諸感覚を働かせた能動的な鑑賞となるように活動を工夫し、**発達に応じた適切な言語活動**を位置付けた題材を設定する。
  - (3) 児童の主体的な学習の中で、**発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力が関連しながら働くような授業展開**を工夫する。
  - (4) 形や色、材料などに関わりながら**共に学び高め合う学習**としての指導を充実する。

## 体育、保健体育

### 保健体育（高等学校）

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

○ 生徒が自主的・自発的な学習を行うことができるよう指導方法の改善を図る。

〔体育〕

- (1) 生徒が運動の特性や自己の能力に応じて自ら進んで運動種目を選択し、学習内容の深化が図られるよう、履修方法を工夫する。
- (2) 運動そのものの楽しさや心地よさを味わい、精神的なストレスなどの解消に役立てることができ「体づくり運動」の学習を通して、健康や体力の必要性を認識させ、日常生活で継続的に実践できる能力を育てる。

〔保健〕

- (1) 心身の健康の保持増進のため、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自己の健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力の育成を重視する。
- (2) 生徒の思考力・判断力等を育成するため、実習や実験及び課題学習などを取り入れるとともに、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進する。
- (3) 心と体を一体的にとらえ、「保健」と「体育」の内容を密接に関連づけて指導する。

### 保健体育（中学校）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○ 主体的な学習を通して健康を保持増進する基礎を培い、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するよう指導方法の改善・充実を図る。

〔体育分野〕

- (1) 生徒の発達の段階を考慮し、各運動が有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識が身に付くように、指導内容の整理と体系化を図る。
- (2) **体づくり運動は、すべての学年で指導し、体ほぐしの運動や体力を高める運動の必要性を感じさせ、学習したことを実生活に生かすことができるような指導方法を工夫する。**

〔保健分野〕

- (1) 視聴覚教材の活用、実習、実験、課題学習等を取り入れるとともに、養護教諭や栄養教諭等の専門性を有する教職員の参加・協力を推進するなど多様な指導方法を工夫する。
- (2) **個人生活における健康・安全に関する内容を科学的に理解し、主体的に自己の健康課題を解決していく学習活動を工夫する。**

### 体育（小学校）

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

○ 主体的な学習を通して生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの基礎が培われるよう指導方法の改善・充実を図る。

〔運動領域〕

- (1) 児童の発達の段階を考慮し、各運動が有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識が身に付くように、指導内容の整理と体系化を図る。
- (2) **体づくり運動は、すべての学年で指導し、体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動（遊び）、体力を高める運動の必要性を感じさせるような指導方法を工夫する。**

〔保健領域〕

- (1) 視聴覚教材の活用、実習、実験、課題学習等を取り入れるとともに、養護教諭や栄養教諭等の専門性を有する教職員の参加・協力を推進するなど多様な指導方法を工夫する。
- (2) **身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を実践的に理解し、積極的に自己の健康課題を解決していく学習活動を工夫する。**

## 家庭・技術・家庭（家庭分野）

### 家庭（高等学校）

〔共通教科「家庭」〕

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

〔専門教科「家庭」〕

家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発達を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

#### ○ 家庭や地域の生活及び生活産業と関連付け、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を充実する。

- (1) 共通教科では生活を創造する主体として、専門教科では生活産業に従事する者として、必要な基礎的・基本的な知識と技術を、実践的・体験的な学習を通して定着させるよう努める。
- (2) 習得した知識と技術を活用し、生活や生活産業にかかわる問題を主体的、合理的に解決できるよう、指導方法を工夫する。
- (3) ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動においては、自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して生活を科学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付けるよう指導する。

### 技術・家庭（家庭分野）（中学校）

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

#### ○ 日常生活との関連を図り、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を充実する。

- (1) 実践的・体験的な学習活動の内容を吟味し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、生活をよりよくしようとする能力と態度の育成につながるよう、生徒の実態に即した活動を工夫する。
- (2) 生徒自らが問題に気づき課題を設定して、主体的に問題を解決できるよう、学習の過程や方法を工夫する。
- (3) 家庭や地域社会との連携を図ることにより、生徒が習得した知識と技術を生活に活用できるようにする。

### 家庭（小学校）

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

#### ○ 日常生活との関連を図り、実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を充実する。

- (1) 自分の生活に結びつくような問題解決的な学習や実践的・体験的な学習活動の内容を工夫することにより、児童一人一人が、家庭生活への関心を高め、日々の生活の営みの大切さに気付くとともに、身近な生活の課題を見付けその解決を目指して考え工夫することを通して、自分の成長を自覚できるようにする。
- (2) 校内や家庭で賞賛や認め合う場を設定することにより、実践する喜びを味わうとともに、家族や近隣の人々とかかわる意味やよさについて実感できるようにする。
- (3) 児童の興味・関心や生活の実態に応じた学習ができるよう内容の選択の幅を広げる。



## 外国語活動、外国語（英語）

### 外国語（高等学校）

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

#### ○ 4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成する言語活動を充実する。

- (1) 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成する言語活動を充実する。（知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力等を育成するための有効な手立てとして、言語活動を充実する。）
- (2) 生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、**授業は英語で行うことを基本とする。**
- (3) コミュニケーション能力を養うために、**生徒が実際に情報や考えなどの受け手や送り手となってコミュニケーションを行う活動を充実する。**その際、言語の使用場面や言語の働きを適切に組み合わせることににより、各言語活動が効果的なものとなるように留意する。
- (4) 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、当該文法を実際に用いて言語活動を行うことによって、**文法をコミュニケーションに活用することができるようにするための指導を行う。**
- (5) 指導すべき語数が充実したことを踏まえ、**コミュニケーションを内容的に充実したものとする。**
- (6) 各科目の指導に当たっては、**指導方法や指導体制を工夫し、ペアワーク、グループワーク等を適宜取り入れたり、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク等を適宜指導に生かしたりするとともに、外国語指導助手（ALT）とのチーム・ティーチングを効果的に活用する。**

### 外国語（中学校）

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

#### ○ コミュニケーション能力の基礎の育成を目指し、生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる授業を創造する。

- (1) 生徒の実態に応じて**英語で授業を進める**など、授業で**英語に触れる時間を増やす。**
- (2) 単元や授業のねらいを明確にするとともに、単元構成・授業構成の改善を図り、**ねらいに沿った活動を設定**する。
- (3) 生徒が**学習の必然性を感じ意欲が高まるような課題を精選**したり**思考力・判断力・表現力等を育成する場面を設定**したりする。
- (4) **技能を統合して活用する言語活動の充実**を図る。また、言語活動を通して**言語材料の確実な定着**が図れるよう工夫する。
- (5) 「見通す」「学び合う」「振り返る」**学習活動を重視**し、自律的学習者として主体的に学び続ける態度・姿勢の育成に努める。

### 外国語活動（小学校）

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

#### ○ 外国語で積極的にコミュニケーションを図りながら、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や表現に慣れ親しむよう児童主体の授業を創造する。

- (1) 教師自身が**英語力の向上に努め、クラスルーム・イングリッシュを計画的に使用し、児童が英語に触れる時間を増やす。**
- (2) **1単元で授業を設計し、単元や授業のねらいを明確にして、単元構成・授業構成を工夫する。**
- (3) **積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するよう活動内容を工夫する。**
- (4) 児童の興味・関心に応じて、他教科等で学習した内容を取り入れるなど、内容や活動を工夫し、知識としての指導ではなく、**体験的に聞いたり話したりすることを通して音声や表現に慣れ親しむようにする。**
- (5) **言語や文化については、さまざまな言語や幅広い題材を取り扱うとともに、自国理解を深めることができるよう配慮する。**
- (6) 語句や文の機械的な暗記により、コミュニケーションへの意欲や興味・関心を減じることのないように留意する。